

都市型コミュニティの可能性を探る

— 都市に必要なコミュニティとは？ —

少子高齢化が進む中、地域の子育て、福祉、安全・安心等々の担い手として期待されている町内会・自治会などが、都会の中で人間関係の煩わしさからか、その力が発揮できない状況になりつつあります。一方、川崎市では、これからも暫く人口増が見込まれていますが、その増えているマンション住民の町内会・自治会への加入率の低さなど、地縁型コミュニティへの関心の無さがクローズアップされています。

平成17年4月から施行された「川崎市自治基本条例」では、「コミュニティの役割を尊重し、その自主性及び自律性を尊重しながら、市はコミュニティにかかわる施策を推進します。」とされています。現在も、川崎市都市型コミュニティ検討委員会で、川崎市のような都市に有効なコミュニティのあり方などが検討されているところです。また、NPO小杉駅周辺エリアマネジメントの取り組みも始まっています。

こうした状況を踏まえ、様々なコミュニティに関わっている方々をお招きして、どんなコミュニティが必要なのか、市民や市、マンション事業者などのそれぞれの役割、また、解決策の一つとして考えられる地縁型とテーマ型がうまく連携・融合したコミュニティ作りの可能性について、議論していきます。

平成21年9月26日（土）午後1時30分～4時30分

高津市民館 11階第1音楽室（川崎市高津区溝口）

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区溝口1-4-1

☎ 044-814-7603

[裏面地図参照](#)

◎参加費：500円 …終了後、交流会（会費は2500円程度）を予定しています。

◎定員：60名 …裏面の申込書にてお早めにお申込みください。

●プログラム（予定）●

午後1時00分 開場

1時30分 開会

1時40分 課題提起 —— 武藤 博己 さん / 法政大学大学院政策創造研究科教授

2時20分 パネルディスカッション

— コーディネーター 辻山 幸宣 さん / (財)地方自治総合研究所所長

パネリスト 郡司 真弓 さん / NPO法人WE21ジャパン理事長

竹井 齋 さん / 元川崎市自治基本条例検討委員会委員

田中 秀和 さん / 梶が谷駅前まちづくり協議会

中村ノーマン さん / 多文化活動連絡協議会代表

会場とのディスカッション

4時30分 閉会 <終了後、1時間半程度の交流会を予定>

●お申込み・お問い合わせ先

かわさき自治基本条例フォーラム実行委員会

TEL/044-812-4148（藤村）

FAX/044-788-8047

E-Mail/kawasaki.jichi@gmail.com

※ お問い合わせは、できるだけ、Eメールでお願いします。

参加申込書

E-Mail

kawasaki.jichi@gmail.com

(内容をメール本文に貼り付けて、お送りください。)

FAX

044-788-8047

(必要事項を記入の上、このままお送りください。)

お名前

9月18日(金)までに

EメールまたはFAXでお申し込みください。

(※できるだけ、Eメールでお願いします。)

● 連絡先等

所属(あれば) _____ TEL _____ FAX _____

メール _____ @ _____

該当するものに○をつけてください。(フォーラムのみ参加 ・ 交流会まで参加)

登壇者プロフィール〈50音順〉

郡司 真弓 さん / 特定非営利活動法人WE21ジャパン理事長

神奈川県内に53のリサイクルショップ「WEショップ」を運営している35の地域組織(NPO法人取得)がネットワークし、利益の一部でアジアの女性の自立を支援している。

WE21ジャパンは、地域組織のサポート、国内外のNGOとのネットワーク作り、研修や学習会の実施、政策提言活動に取り組んでいる。

竹井 齋 さん / 元川崎市自治基本条例検討委員会委員

1990年頃の尾瀬の自然保護、日本語ボランティアなどが市民活動の始まり。現在、町内会や、中原区まちづくり推進委員会、中原区区民会議、NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント、環境NPOアクト川崎などで、まちづくり、環境保全などにかかわっている。

田中 秀和 さん / 梶が谷駅前まちづくり協議会

梶ヶ谷在住の地域住民で、駅と駅前の都市空間を少しでも安全に、便利に、快適に活用できるように、市民主体で実現可能な活動を行う「梶が谷駅前まちづくり協議会」の発足に携わり、会員によるプロジェクト推進、一般市民の参加によるワークショップを通じて、ポトムアップの草の根の活動を続けている。

辻山 幸宣 さん / 財団法人地方自治総合研究所所長

1947年北海道生まれ。中央大学法学部教授を経て、2006年より現職。川崎市自治基本条例検討委員会委員長を務めた。

主な著書に『地方分権と自治体連合』、『自治基本条例はなぜ必要か』、『住民・行政の協働』(編著)、『現代日本の地方自治』(編著)などがある。

Norman Nakamura(中村ノーマン)さん / 多文化活動連絡協議会代表

多文化フェスタみぞのくちははじめとする事業を行政と協働で進めている。外国人や障がいのある方などマイノリティの地域参加の促進から活動をはじめた。2006年頃から多様な人の課題を社会の問題として取り上げ、解決に向けた気づきと成長を促す活動に取り組んでいる。

武藤 博己 さん / 法政大学大学院政策創造研究科教授

専門は、行政学・地方自治・政策研究。川崎市市民活動推進委員会委員長、川崎市都市型コミュニティ検討委員会委員長などを務める。

主な著書に、『道路行政』、『入札改革』、『分権社会と協働』(第1巻)、『イギリス道路行政史』などがある。

会場案内図

高津市民館 第1音楽室

川崎市高津区溝口 1-4-1 (ノクティ2-11階)

<電話>044-814-7603

JR南武線「武蔵溝ノ口」 } から徒歩2分
東急田園都市線「溝の口」 }



今までの自治基本条例フォーラムがブックレットにまとまっています。

◆第1回自治基本条例フォーラムブックレット
『自治基本条例で地域自治はどう変わるか
—都市部の自治を支える行政と市民の関わり
・協働のあり方とは—』

◆第2回自治基本条例フォーラムブックレット
『政令市における小さな自治を考える
—小さな自治のかたちとあり方をめぐって—』

◆第3回自治基本条例フォーラムブックレット
『あるべき協働のすがたを探る
—公共における連携とは—』
(定価各500円)

お問い合わせは、実行委員会まで

kawasaki.jichi@gmail.com, FAX:044-788-8047